

環境審議会委員からの御意見と対応

資料1

①第2回環境審議会当日の意見

委員名	答申案 頁※	意見	当日の対応	対応(案)
岩熊委員	32～33	(人づくりの柱の指標の案について)答申案31pにESDの記載がありますが、「地域ESD活動拠点」は全国に149団体、福岡県内には7団体あります。これを増やして育てていくことを指標としてはいかがでしょうか。	御意見として承ります。【浅野会長】	国が定めた第2期ESD国内実施計画では、ESD活動支援センター及び地域ESD推進拠点等のネットワークによる全国的なESD支援体制を、国において整備する旨が記載されています。 よって、福岡県環境総合ビジョンにおいては、ESDについての支援を受ける仕組みとして、地域ESD推進拠点が設けられていることを記載します。
阪口委員	46～47	脱炭素の柱の指標に、家庭や事業所のエネルギー消費量があるが、答申案(のグラフ)ではCO2発生量になっており、どれくらい努力すれば発生量を削減できるのかわかりにくくなっています。	CO2発生量は、電力会社の排出係数によって変わり、電気を使う人の努力が反映されないので消費エネルギーを指標としています。答申案もエネルギーで統一します。【浅野会長】	答申案の脱炭素の柱に示しているグラフがCO2発生量のみであったため、右軸をエネルギー消費量(折れ線グラフ)に修正します。

※本日本配布した資料でのページ番号

②環境審議会後の照会による提出意見

委員名	答申案 頁※	意見	理由	対応(案)
井上眞理 委員	全体	とてもよく精査され、図表もよくまとめられており、異存ありません。些少な部分で気になった点を上げていますので、ご検討ください。基本的には、 <u>図表を見ただけで、何を表しているかをタイトルに示すと、国や他県等がこれらの図表を引用する際にも役立つのでは、と期待しています。</u>	-	左記のとおり修正します。
井上眞理 委員	34,46 ほか	県内→ 福岡県 本県 → 福岡県	図表のみでも伝わるように、基本的には「福岡県」というタイトルは必須だと思います。 ページ数は、一例を示していますので、全体をチェックしてみてください。	左記のとおり修正します。
川崎委員	79～	野生生物の適切な保護と管理の項に傷病野生鳥獣保護について記述すべきと思います。	傷病野生鳥獣保護についてです。県民から寄せられた傷病野生鳥獣については、県内8か所の傷病野生鳥獣医療所を設置して対応しています。 福岡県は以前からこの事業に取り組んでおりますが、鳥インフルエンザの影響で受入施設の確保が難しくなって来ております。 しかし、県民が野外で傷病鳥獣を発見し、助けたいとの思いで行政に連絡を入れ、受入先まで運んでいきます。県民の動物愛護精神を醸成する事業でもあります。受入の傷病野生鳥獣医療所も県施設ではなく市施設や民間施設です。受入施設にとっても県環境部の基本計画の中に掲げているものであれば、受入れの励みになると思われまます。 また、環境部の基本計画に載っていないと、財政サイドから見れば重要事業でないと判断され、削減対象になるのではないかと危惧されます。	生物多様性戦略への記載を検討します。